

教育委員会だより

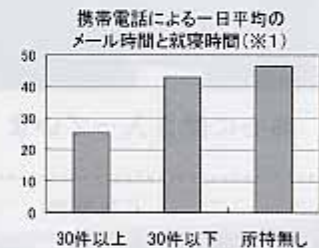
もう一度考えてみよう子どもの携帯電話の使用ルール

児童生徒が、携帯電話のメールやインターネットを利用する機会は、近年急激に増加してきております。本町でも、携帯電話を所持している児童生徒が増えつつあります。

それに伴い、インターネット上の学校非公式サイト（いわゆる「学校裏サイト」）等を利用し、特定の児童生徒に対する誹謗中傷が行われるなど、「ネット上のいじめ」という新しい形のいじめの問題が生じています。

以下は、文部科学省の出している「子どもの携帯電話等の利用に関する調査結果」についての考察です。

- 携帯電話をよく使う子どもは就寝時間など生活面への影響も見られます。午後11時までに就寝する割合（中2）は、メールを30件以上している生徒は非常に少なくなっています（※1）。一日50件以上のメールをする生徒は、自分ではやめられない等の依存症の傾向も見られるとのことです。



- 子どもの携帯電話の使い方に保護者が注意を払っている場合、その子どもに携帯電話の利用マナー（不適切な情報を掲示板に書き込まない等）が身につけている割合が多いです。（小6で90.8%）
子どもの携帯電話使用については使い方に気を付けたり、使う場所や時間についてルールを決めておくことが大切なことが分かります。

他にも、フィルタリングをしている子どもはしていない子どもに比べ、携帯電話にかかわるトラブルを経験した割合が全般的に低くなっているという結果も出ています。

携帯電話は、非常に便利な道具ではありますが、一方犯罪やトラブルに巻き込まれる恐れもあります。本当に必要なかを考え、携帯電話の使い方について正しく、適正な使用ができるようご家庭でも話し合っていたいただきたいと思います。

お詫びと訂正

7月号の「教育委員会だより」の基礎・基本定着度調査の結果で、間違いがありました。中学1年生の国語の点数が260.0となっておりましたが、正しくは60.0です。また、地区の平均と県の平均が逆になっておりました。申し訳ございません。訂正いたします。

『特色ある開かれた学校づくり』を目指して

徳之島町立山小学校

山小学校は児童数33名、創立113年の歴史ある学校です。校庭には、シンボルツリーのせんだんの巨木、敷地には、昭和4年に建てられた徳之島初の鉄筋2階建て校舎（現在は郷土資料館）があります。



1 「島人ぬ宝」について

本校では、特色ある開かれた学校づくりを“21世紀版ヤンキチシキバンの学校”づくりと銘打って、「島人ぬ宝（島口、島唄、島踊り、三味線の伝承）」をはじめとする活動に、山民謡保存会や地域の方々との協力指導により、技能や方法を確実に児童に身に付けさせる取り組みを行っています。学習の成果は、学習発表会や山ライズミニコンサート、町公民館学習フェア等で披露しています。

2 パンダ園のさとうきび栽培について

児童がバレンタインデーに、パンダの好物のさとうきびを、上野動物園に送ろうと考えたのがきっかけで始まったさとうきび栽培。それが21年も続く伝統行事となりました。キビ刈り当日は、児童の実行委員会を中心に、保護者や地域の方々の協力を得ながら、刈り取り・切りそろえ・箱詰めまで、全校児童で取り組みます。例年約300kgを越えるさとうきびを収穫し郵送します。これらの活動を通じて、動物愛護の精神、郷土の特産物の収穫の喜びや、郷土を愛し誇りに思う気持ちを培っています。





鹿児島県障害者用駐車場利用制度（パーキングバミット制度）が始まります

鹿児島県では、障害のある方や高齢の方、妊産婦など歩行が困難な方が障害者用駐車場を利用しやすくなるために、県内共通の利用証を発行する「鹿児島県身障者駐車場利用証制度（パーキングバミット制度）」を平成21年11月から始めます。利用証はハートピアがごしま及び大島支庁等において、交付を行っております。また、利用証をお持ちでない方々につきましては、当制度の趣旨をご理解の上、身障者用駐車場に駐車しないでいただきますようお願いいたします。

力をお願いします。

なお、交付対象者・申請方法・申請窓口等につきましては、県のホームページをご覧ください。か、県庁障害福祉課へお問い合わせください。

■問合せ先

県庁障害福祉課

099・286・2746



収納対策課からの

お知らせ

徳之島町では、みなさんから納付いただいた税金で住民の皆さんが健康で文化的な生活をおくるために、個人ではできない様々な事業を行っております。しかし、残念ながら税金を滞納するケースが増えてきています。徳之島町を健全な状態に導き、税の公平性及び平等性

を確保するために、平成20年度において68件、5、907千円の差押えをおこないました。

今後は、これまで以上に滞納者に対して、財産調査を実施し、財産の差押えを行うこととなりますので、納期内納付にご協力ください。

なお、随時、納税相談を行っておりますので、収納対策課までお越しくください。

■問合せ先

町役場収納対策課

821111



タイヤロック



オータムジャンボ宝くじ

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

◆発売期間

平成21年9月28日（月）

から10月16日（金）

売り切れ次第発売終了

◆抽選日

平成21年10月23日（金）

◆当選金額

1等…1億5千万円×13本

前後賞…各2千5百万円

2等…1千万円×130本

※詳しくは、鹿児島県市町村振興協会（099・20

6・1001）へ

自衛隊ヘリコプター殉職者慰霊碑建立寄附金追加寄付のお知らせ

天城町松原 中島敏夫

10,000円（敬称略）

これにて会計を締め切り、

今後は徳之島町の会計へと繰り入れ、管理を行います。皆様の温かいご善意誠にありがとうございました。

スイッチの切り忘れ

アイロンや電熱器などを使用しているときに、来客や電話でついその場を離れてしまうようなことはありませんか。その場を離れるときは、必ずスイッチを切り、プラグを抜く習慣をつけましょう。



アイロンのスイッチの切り忘れはありませんか？

あ～だこ～だ



財団法人 九州電気保安協会

徳之島町、天城町北部地区へのデマンド型交通の導入のお知らせ

徳之島町北部地区を運行する（平土野～花徳系統）を休止し、同地域における代替交通として、事前予約があった場合にのみ運行するデマンド（需要、要求）型交通を導入します。

「運行開始日」 平成21年10月1日（木）

■ 「運行内容」

- ① 事前に予約があった便、区間のみを運行するデマンド型運行とする。
- ② 運行経路は、基本の経路を設定し、基本経路から利用者の希望に応じて、決められた乗降場所へ迂回しながら運行する「迂回型運行」とする。
- ③ 実際の運行は、各運行区域内を基本経路をもとに往復する形で運行する。

■ 「車輛」

車輛は、10人乗りジャンボタクシーによる運行とする。

■ 「運行回数・運行時刻」

- ① 運行回数は一日3往復とする。
- ② 運行時刻は、起点の時刻のみを設定し、途中の経路上の時刻については、予約状況による経路の変更に対応するため、時刻に幅を持たせた見込みの時刻を設定する。

■ 「予約方式・予約センター」

- ① 電話による事前予約とする。
- ② 事前予約の制限時刻は、起点での発車時刻の2時間前を目処に設ける。
ただし、始発便が相当に早朝の場合は、予約センター運営者との相談のもと、前日までの予約を検討する。

■ 「運賃」

徳之島町北部区間を均一料金として、乗車1回あたりの料金は300円とする。但し、小学生以下、75歳以上の高齢者及び身障者は半額とする。



農政課からのお知らせ

【糖業係】

「さとうきび病害虫防除技術導入事業」

＜事業内容＞ さとうきびの効率的な生産体制を確立するため、さとうきびの重要害虫であるハリガネムシ、アオドウガネ等への集団的な防除技術の導入（農薬購入助成）を行う事業です。

＜助成額＞ 1/2助成です。（購入価格に対して半額になります）
2袋/10アールが基準です。

＜農薬＞ 「プリンスベイド粒剤」・「アドバンテージS粒剤」が対象です。

＜期間＞ 平成22年3月末まで（夏植から適用になります）

※ハリガネムシにはプリンスベイド粒剤が高い効果のあることが実証されております。

詳しいことにつきましては、役場農政課（82-1111）及びJA徳之島事業本部購買課（82-2233）にお尋ねください。



平成21年度 一般コミュニティ助成事業のお知らせ

平成21年度の自治宝くじ助成事業として、北区自治会と反川集落、大当地区、闘牛太鼓が一般コミュニティ事業の対象となり、机やイス、音響設備、太鼓等の整備がされました。

これは、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報活動の一環として、住民が行うコミュニティ活動の促進に助成を行っているものです。

今後4団体ともに、コミュニティ活動の推進や各種行事等に有効利用し地域の活性化に役立てる予定です。



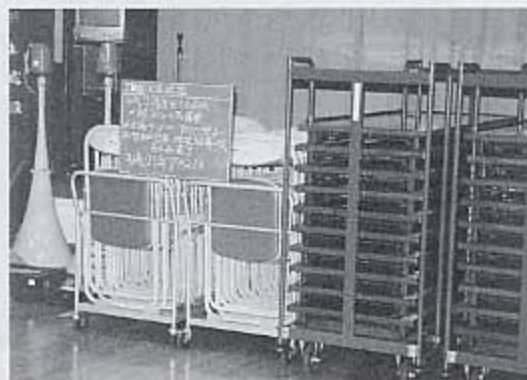
宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

北区自治会



大当地区



反川集落



闘牛太鼓



町内の商店主のみなさんへ(お知らせとお願い)

徳之島町では、奄美諸島の世界自然遺産登録に向けて様々な取組を展開しているところですが、私たち社会教育課では、第3日曜日のボランティア作業に参加した児童生徒に一人一回50ポイント(1ポイント=1円)の「ボランティア・ポイントカード」を発行し、それぞれの児童生徒が所属する団体(子供育成会やスポーツ少年、中学生は部活動)の活動資金として活用する制度を本年導入しているところです。

このポイントカードは、いつでも使えるということではなく、3月の最終回のボランティア清掃が終わった後に各団体がまとめて取扱店で使用することになっています。また、ポイントカードで不足する金額は現金を足して使用することも各団体は承知しています。

そこで、商店主の方にはお願いがあります。この制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いたします。皆様にはポイントカードを町役場に持って行って換金するなど、面倒なことも発生しますが、どうかご理解いただき、ご協力を賜りたいと思います。

金額的には少額の事業ですが、自然遺産登録や児童生徒のボランティア精神の涵養のためにも商店主の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

なお、この件に関しまして疑問等がございましたら教育委員会社会教育課(82-2904)までお問い合わせください。



徳之島の偉人紹介～その13～

はやし げんしゅん

林 元俊（1860年花徳生まれ。1904年没）

花徳の郷土、林為喜祐の子。漢学と数学について学び、戸長時代には山村ほか5村戸長を務めた。祖先は川内の藩士鶴野木又右衛門。

1898年（明治31年）第5回総選挙で代議士に当選、徳之島出身国会議員第1号となった。

税金15円以上の納税者だけに選挙権があり、奄美の有権者208人、元俊得票110票であった。

代議士になる4年前、大島興業を設立、社長に就任した。大島興業は西南戦争後、奄美にも交易の自由が認められていたが海上の交通権はすべて本土資本にあって高い運賃のため交易の発展は阻まれていた。島の資本で島の人が島のための海上交通を目指したのが大島興業であった。政府の離島航路補助金も確定し、数隻を運航させ、琉球王国以来、奪われていた海上交通権を手にした。

大阪第79回国立銀行取締役大島支店主任、鹿児島農工銀行設立員などを歴任した。

（参考文献『鹿児島先駆者の記録』）

定額給付金の申請はお済みですか？

◆定額給付金の申請はお済みですか。

申請受付は平成21年10月2日までです。それを過ぎると受付できません。なお、郵送については、10月2日の消印まで有効となります。

◆定額給付金はお受取りになりましたか。

申請したのに、まだ給付金が振り込まれていない。または給付金を受け取られていない方は、下記までご連絡ください。

◆定額給付金を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の搾取」にご注意ください。

【問合せ先】徳之島町企画課 ☎82-1111（内線221・222）

